【今月の表紙】

国際協力事業団（JICA）から「地域保健・母子保健」の研修生が一才六ヶ月児健診の視察に来町されました。

一行はフィリピン2名、ザンビア3名の計5名で、医師、保健婦、栄養士等の方々です。約2週間の新潟大学での技術研修中、地域でどのような母子保健の取り組みがなされているかを視察にこられたものです。

皆さん、それぞれの国で母子保健の中心となって活躍されている方々で、健診のやり方等について、細かく質問をされていました。また、子供が大好きな方達で、言葉は通じぬものの、健診に来た子供達や保護者の方と、笑顔でコミュニケーションをとっていらっしゃいました。

健診を視察されての感想は、「子供達がとても大切にされているのが、よくわかった」とのことでした。また健診の場面で「親子遊びの指導のあることが、少し不思議」だったそうです。町では少子化や、育児環境の変化により「子供とどうやって遊んだら良いかわからない」と言うお母さんの声に応えるため、健診の場で親子遊びの指導や、あそびの教室を開催しています。フィリピンやザンビアでは、兄弟の数も多く、昔ながらの地域社会全体で子育てをするという風潮が強いため、おおらかな子育てがされているようです。

母子保健奨励賞を授与されました。

昭和54年国際児童年を契機に設定されたこの賞は全国から県知事等の推薦により母子保健の発展・向上に寄与し、その業績が顕著で将来も活躍が期待される個人に贈られる賞で、当町の保健福祉課窪田一美保健婦長が授与されました。

「ヨイショ～ヨイショ!!」

12月14日、小須戸保育園でお正月にはちょっと早いですが餅つき大会がありました。みんなで順番に「ヨイショ～ヨイショ！」できあがったお餅はさぞかしおいしかったことでしょう。

はっぴょうかい

小須戸保育園（12月8日）

矢代田保育園（12月9日）

12月8、9日に小須戸保育園と矢代田保育園で発表会がありました。みんないっしょうけんめい練習しただしものをみてお父さんもお母さんもわが子のすがたをカメラでパチリ！

広報クイズ??

① 来年は西暦○○○○年です。
② ＪＩＣＡ(ジャイカ)は○○○○○○の略称です。
③ ○○○○○○○対策措置法が施行されます。

ヒント　広報をよく読んで…

※今月はお年玉としていつもの倍の6名の方に記念品を進呈！
みなさん、ふるってご応募ください。

★締め切り　1月14日(金)当日消印有効

11月号のクイズの答え
① 災害復旧
② 11月1日
③ 灯台記念日

★応募方法

裏

クイズの答え
①
②
住所
氏名
電話番号
町に対するご意見
ご希望等

表

956－0192
小須戸町大字小須戸120
役場総務課
企画財政係
行

当選者
田中　ヨセ さん（大川前3）
佐藤　ムツ さん（新栄町1）
阿達　幸子 さん（矢代田6）

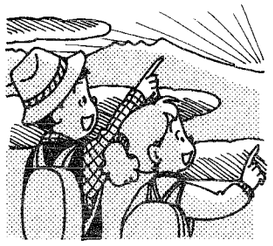
歳時記 ― 初東雲 ―

初東雲（はつしののめ）　かがり火浴びて詰（もう）でけり　とし子

東雲とは、明け方、日の出前に東の空があかね色に色づくさまをいいます。

篠竹で編んだ明かりとりの粗い「篠の目」からもれる薄明かりが、夜明けの様子を表すような意味として、「東雲」というようになったといわれています。

初東雲は新年の東雲のこと。除夜の鐘とともに、すでに年は明けているわけですが、初日の出を待っていて、空があかね色に染まり始めるときの感動はひとしおです。特に今年は西暦二千年代が終わり二千年代に入った節目の年ということもあって、初東雲を体験し、初日の出を見た方も多かったのではないでしょうか。

また、新年の季語には「初もうで」「初詣」など初のつく言葉がたくさんあります。これらの言葉は従来から使われていますが、最近では「初新聞」「初電話」など現代風な言葉も見受けられます。この先、「初ファクス」「初メール」なども登場するかもしれません。いずれにしても、「初東雲」をはじめとして新年の季語に「初」がつくものが多いのは、年が改まることを大切に思う気持ちがこめられているからでしょう。

東雲の空もきれいですが、この時期の星空も冴（さ）えて見えます。一月二十五日から二月七日まで、全国星空継続観察＝スターウォッチングが行われます。天体観察を通じて環境に関心をもってもらおうというものです。詳しくは市区町村担当係まで。